

## 新居浜市内で働く若者と市長の懇談会開催結果

開催日時 令和元年10月31日（木）18時30分～20時

開催場所 市役所5階大会議室

参加者 新居浜青年会議所理事長他4名

テーマ これまでの新居浜市、これからの新居浜市

### <概要>

新居浜青年会議所の会員5名と市長が、「これまでの新居浜市、これからの新居浜市」をテーマに、意見交換を行いました。参加者からは、本市の強み、弱みなどを踏まえ、今後どのようなことに取り組んでいけばよいか、ということについて、多種多様なご意見が出され、活発な意見交換が行われました。

### <結果>

以下のとおり、多様な意見が出されました。

#### ○新居浜市の強み

- ・住友の城下町であり雇用が安定している。
- ・住友が培った文化がある。
- ・ものづくりのまちとして、技術力が高い。
- ・市民が愛する太鼓祭りがある。

#### ○新居浜市の弱み

- ・何か1つ突出するもの・出せるものがない。
- ・市全体において中心部がない。
- ・新居浜市は空き家が多い。
- ・子どもが病気をした際に安心して預けられる施設が少ない。
- ・西条市は道が抜けていて整備されている。新居浜市は、道路などの整備が遅れていると思われる。
- ・人材不足。
- ・若者をとどめておけるものがないため、若者が市外に流出している。
- ・投票率が低い。
- ・市内に大学がないため、若者が市外に出ていってしまう。

#### ○今後の取組み、課題等

##### ◆産業活性化関係

- ・ものづくりの高い技術力を生かして、住友関係以外からの受注を増やしていく努力をしてはどうか。
- ・空き家を活用する計画を作ってはどうか。
- ・これからは、人材確保に重点を置いていくべきではないか。

- ・市の業務発注の際、市外1業者のみ指名業者とすることがある。市内業者で可能な業務は、市内の業者を優先して指名し、市内業者を守るようにしてほしい。
- ・外国人労働者については、滞在期間の関係上仕事を覚えたころに退職するのが現状である。人材育成の観点から言うと、技術を覚えてもらい、それを活かしてもらう期間として、定年まで働いてもらえるように法改正されなければ、あまり有効ではない。
- ・日常生活を変えるような店舗があると、いいと思う。

#### ◆太鼓祭り関係

- ・太鼓祭りを四国三大祭りとして集客したいのであれば、週末開催も検討しないと難しいのではないかな。
- ・太鼓祭りについては、現状では、内輪でにぎわっている感が否めない。一宮の杜ミュージアムや山根のかきくらべについては、市外の人も見に来るきっかけになると思うので、PRするとともに、もっとイベントとして、市外の人が見に来やすい環境を整えることも大切だと思う。

#### ◆観光関係

- ・新居浜市出身者には、水樹奈々さんや石丸幹二さんなど、芸術関係者が多いので、別子銅山を舞台としたアニメをつくり、新居浜市をPRすればいいのではないかな。
- ・東平を観光の目玉とするために、例えば水樹奈々さんに協力してもらって、聖地にすることで、観光客が増えると思う。

#### ◆移住・定住関係

- ・震災等に遭われ、凶らずも、それまで暮らしてきた場所での生活再建が難しく、他地域での生活・就職を検討している方たちに、支援を行うことによって、新居浜市住んでもらってはどうかと思う。
- ・子育てしやすい環境であるということは、新居浜市の魅力であると思う。保育施設等も充実しているので、そのようなサービスを拡充してPRすることで、住みたいと考える女性が増えるのではないかな。

#### ◆駅南地区関係

- ・新居浜商業高校が立地しているため、南北のアンダーパスを抜くことは、非常に難しいのではないかなと思う。
- ・施設整備を考えるのであれば、コンサートなどが可能な規模の施設があればよいと思う。
- ・新居浜市をイメージできるような「ランドマーク」を造ればどうかと思う。
- ・スポーツ施設を造る場合は、ある程度の規模の施設とし、一定の経済効果が見込めるような施設にしなければ、管理費用がかかるだけのものになってしまう。

#### ◆その他

- ・しっかりとした都市計画に基づいたまちづくりを進めていくべきである。
- ・イオンモールや高専を投票所にすれば、投票率が上がるのではないかな。

- ・ 医師確保の費用負担について、西条市や四国中央市と連携してはどうか。
- ・ 自治会の再建については、人のつながりを再構築する必要があると思う。例えば、子供会のようなものを地域活動への参加のきっかけづくりにするなど、子供を中心としたコミュニティづくりを行ってみてはどうか。
- ・ 車道部分にブルーラインが引かれているが、高齢者がそのブルーラインを通っているのを目にすると、非常に危険に感じる。

